

滋賀県スポーツ指導者セミナー[第1～4回]

(令和6年度地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業)

県民の健康・体力およびスポーツ競技力の向上に必要な指導者の知識向上およびクラブ組織力強化を目的にオンラインによる講習会を行い、安全なスポーツ活動の普及振興に役立てることを目的として実施します。

主催 公益財団法人滋賀県スポーツ協会
 対象 地域スポーツクラブ指導者、学校部活動指導者、社会体育施設指導者・関係者および興味のある方
 定員 各100名程度
 参加料 無 料

申込方法 別紙申込書に必要事項を入力しお申込ください。後日、zoomIDをお送りします。
 申込書は(公財)滋賀県スポーツ協会HPからダウンロードできます。
 ◆①氏名 ②所属名 ③競技名 ④緊急連絡先 ⑤参加希望日
 ※②・③について、特になければ、記入の必要はありません。
 ◆申込受付期間 令和6年5月22日(水)～ 実施日の前日まで

申込書はこちらから



申込先 公益財団法人滋賀県スポーツ協会 TEL 077-511-9955 FAX 077-521-8484
 問合せ先 生涯スポーツ担当 E-mail kouiki@bsn.or.jp

その他 ・オンライン接続(zoomID)については、申込者へ後日通知いたします。
 オンライン講習に伴うzoom、Wi-Fi経費については個人負担になります。
 ・日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の更新研修ではありません。

| | 実施日 | 講師 | 内容 | 実施形態 |
|---|--------------|---|--|-------------|
| 1 | 令和6年6月6日(木) | 八田 倫子 氏 (特定非営利活動法人スポーツセーフティージャパン) | 米国BOC公認アスレティックトレーナー(ATC) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(JSPO-AT) 米国NASM公認パフォーマンスエンハンスメントスペシャリスト(PES) 帝京平成大学人文社会学部経営学科トレーナー スポーツ経営コース非常勤講師 | オンライン 開催 |
| | 10:00～11:45 | 【熱中症メカニズムとトリプルH】死のリスクを伴う3つの疾患を、心臓疾患のハート(H)、脳のヘッド(H)、そして熱中症のヒート(H)の頭文字から“トリプルH”と呼びます。どんなに予防策を講じても、100%防ぐことは難しい。だからこそ、最悪の事態を避ける知識の習得や、体制作りを講じる必要があります。また、“トリプルH”のひとつ、熱中症のリスクが最も高まる時期です。そのための準備は何か必要かについて学びます。 | | |
| 2 | 令和6年6月13日(木) | 陣内 峻 氏 (特定非営利活動法人スポーツセーフティージャパン) | 米国BOC公認アスレティックトレーナー(ATC) 米国NASM公認フィットネスエデュケーター(FE) 東京リゾート&スポーツ専門学校 非常勤講師 ヒューマンアカデミー東京校 非常勤講師 日本健康医療専門学校 非常勤講師 都立武蔵中学・高等学校サッカー一部コーディネーショントレーナー | オンライン 開催 |
| | 19:15～21:00 | 【熱中症メカニズムとトリプルH】死のリスクを伴う3つの疾患を、心臓疾患のハート(H)、脳のヘッド(H)、そして熱中症のヒート(H)の頭文字から“トリプルH”と呼びます。どんなに予防策を講じても、100%防ぐことは難しい。だからこそ、最悪の事態を避ける知識の習得や、体制作りを講じる必要があります。また、“トリプルH”のひとつ、熱中症のリスクが最も高まる時期です。そのための準備は何か必要かについて学びます。 | | |
| 3 | 令和6年6月18日(火) | 中川 哉 氏 (ひかり行政書士法人) | ひかり行政書士法人 行政書士 特定行政書士(日行連) 申請取次行政書士(阪行) | オンライン 開催 |
| | 19:15～21:00 | 【クラブ運営の一般社団法人、NPO法人とは】 現状以上に組織強化を図るために「一般社団法人」「NPO法人」を検討されている方へ、何が違う? メリット・デメリットや助成金申請等について学びます。また、事故等の発生時の賠償責任について説明いただきます。 | | |
| 4 | 令和6年6月25日(火) | 坂口 尚希 氏 (株式会社SPORTS SQUARE) | アスレティックトレーナー(AT) ヴィッセル神戸メディカル部トレーナー 大学アメリカンフットボール部の試合帯同 東京五輪出場空手日本代表選手専属トレーナー ふくやま病院リハビリテーション科 非常勤スタッフ | オンライン 開催 |
| | 19:15～21:00 | 【パフォーマンスを上げる体力測定と予防アプローチ】 誰もができる簡単な動作やスポーツテストからみるウォーミングアップやエクササイズプログラムの作成について学びます。また、Skillを獲得するための動作の確認方法やけがをした後の運動再開のめやすなどについても学びます。 | | |

★内容は変わることがあります。参加回数に制限はありません。

★年間20回程度予定しております。開催してもらいたいテーマがありましたら事務局までご連絡ください。